

芝適用登録植物成長調整剤一覧表(芝草の草丈抑制・刈込軽減等)

2020.2.12(20-1)
ゴルフ場防除技術研究会

[登録順]

商品名	バウンティフロアブル	グリーンフィールド水和剤	グリーンフィールド粒剤	ショートキープ液剤	ピオロックフロアブル	
一般名	バクロブトラゾール	フルルブリミドール	フルルブリミドール	ビスピリバックナトリウム塩	プロヘキサジオンカルシウム塩	
有効成分含有量	21.5%	50.0%	1.0%	3.0%	25.0%	
登録メーカー	シンジェンタ、住友化学、日本農業、日産化学	日本農業	日本農業	理研グリーン	クマイイ化学、理研グリーン	
試験名	PP-333	EL-500	EL-500粒	KUH-913	KUH-833	
登録年月日	平成1年3月24日	平成1年5月18日	平成2年8月3日	平成9年4月30日	平成9年8月19日	
登録番号	17229・17231	17317	17622	19644	19685・19686	
登録上	作物名	日本芝、西洋芝(ベントグラーフ・ライフェスク・オーチャード)	日本芝、西洋芝(ベントグラーフ・ハニムダ・ブルーグラス・ヘレニアルグラーフ)	日本芝、西洋芝(ベントグラーフ・ハニムダ・ブルーグラス)	日本芝、日本芝(ノシバ)西洋芝(ベントグラーフ・ブルーグラス)	日本芝、西洋芝(ベントグラーフ・ブルーグラス)
	雑草	日本芝:一年生雑草、西洋芝:スズメノカタビラ*	1年生雑草・多年生雑草・スズメノカタビラ密度低減(ベントグラーフ)	1年生雑草・多年生雑草	日本芝:1年生雑草及び多年生雑草、ノシバ:メリケンカルカヤ西洋芝:スズメノカタビラ	
	使用時期	日本芝:生育期・雑草発生初期、西洋芝:刈込7日前-刈込直後・春夏期スズメノカタビラ出穂前・秋冬期発生前~初期	芝生育期、雑草:発生前~始期、芝生育初~芝生育盛期	生育期初期~生育盛期	日本芝:春夏期雑草生育期芝生育期、ノシバ:春夏期芝生育期(メリケンカルカヤ生育期)、西洋芝:スズメノカタビラ出穂前	生育期
	薬量	日本芝:0.75~1.5ml/m ² 、西洋芝:0.04~0.4ml/m ²	日本芝:0.2~0.4g/m ² 、西洋芝:0.1~0.2g/m ² 、雑草:0.4~0.8g/m ² 、*日本芝草丈伸長抑制:0.025~0.075g/m ² 、*スズメノカタビラ密度低減(ベントグラーフ):0.025~0.05g/m ² 、*ベントグラーフ草丈伸長抑制:0.0125~0.05g/m ² 、*ヘレニアルグラーフ草丈伸長抑制:0.025~0.075g/m ²	日本芝:10~20g/m ² 、西洋芝:5~10g/m ²	日本芝:0.5~1ml/m ² 、ノシバ:0.75~1.0ml/m ² 西洋芝:0.1~0.2ml/m ²	ブルーグラス:0.04~0.08ml/m ² 、ベントグラーフ:0.02~0.06ml/m ² 、無人ヘリ:20倍
	水量	0.1~0.3L/m ²	0.25~0.3L/m ² *0.1~0.3L/m ²		0.1~0.2L/m ²	*0.8ml/m ² 0.1~0.2L/m ²
	使用方法	雑草茎葉散布・全面散布	全面均一散布	全面均一散布	雑草茎葉散布	*無人ヘリ、茎葉散布
急性経口毒性LD ₅₀	普:6,000mg	普:ラット♂1,698mg/kg、♀1,972mg/kg	普:ラット♂♀>5,000mg	普:ラット>5,000mg/kg(製剤)	普:ラット>5,000mg/kg	
魚毒性 TLm	コイ:186ppm	A:コイ:13.29ppm(原体)、13.6ppm(水和剤)	A:コイ:1,087ppm	A:コイ:16.6ppm(製剤)	A:コイ:597ppm	
水溶解度	35ppm	130ppm 25°C		73.3g/L	174.2mg/L	
半減期		火山灰土:80日 沖積土壌:50日		5~16日	5日以内	
雑草スペクトラム		1年生>多年生、広葉>イネ科	1年生>多年生、広葉>イネ科	スズメノカタビラ出穂抑制効果	カタビラに抑制あり	
樹木等への影響	新梢の抑制	通常の使用で問題無し	樹種により当年枝の伸長抑制有	ドリフト注意	なし	
洋芝への影響	生育期に処理	萌芽期は使用避ける	萌芽期は使用避ける	一時的な黄化・抑制有り	なし	
作用機作	ジベレリンの生合成阻害、根部吸収	ジベレリンの生合成阻害、根部吸収	ジベレリンの生合成阻害、根部吸収	茎葉部吸収移行型細胞分裂阻害	ジベレリンの生合成阻害	
効果	発現	5~10日	10~15日	2週間程度	2~3日	5~7日
	残効	45~65日	120~150日位	120~150日位	30日~40日	30~40日
流通	シンジェンタ	ニチノ一緑化	ニチノ一緑化	理研グリーン	理研グリーン	
包装	250ml×4	500g×4、*50g×20	5kg×2	1L×5	100ml×8、500ml×8	
A価¥/kg.L	30,800	62,400	2,400	16,000	65,000	
¥/m ²	1.2~46.2	0.8~49.9	12~48	1.6~16	1.3~5.2	
備考		*50g×20 ¥68,500/kg 非農耕地・法面雑草抑制にも適用あり	非農耕地・法面雑草抑制にも適用あり	非農耕地用登録有り	(*無人ヘリ散布:¥3.3/m ²)	

芝適用登録植物成長調整剤一覧表(芝草の草丈抑制・刈込軽減等)

2020.2.12(20-1)
ゴルフ場防除技術研究会

[登録順]

商品名	プリモマックス液剤	プロキシ液剤	ナインG乳剤	ドラード液剤	
一般名	トリネキサバクエチル	エテホン	ニコスルフロン	ベンジルアミノプリン	
有効成分含有量	11.2%	21.5%	4.0%	2.0%	
登録メーカー	シンジェンタ ジャパン	バイエルクロップ	石原バイオサイエンス	理研グリーン	
試験名	OG-186	BES-004	SL-950乳剤		
登録年月日	平成19年5月9日	平成23年6月22日	平成24年5月30日	平成24年9月26日	
登録番号	21959	22933	23085	23120	
登録上	作物名	日本芝(シバ・コウライ)、 西洋芝(ブルー・ベント・ハイ・ミューダ)	西洋芝(ベントグラス・ケンタッキーブルーグラス)	日本芝	西洋芝(ベントグラス・ケンタッキーブルーグラス)
	雑草		スズメノカタビラ	チガヤ	スズメノカタビラ
	使用時期	芝生育盛期	スズメノカタビラ出穂前	春夏期芝生育期(雑草生育期)	春夏期 芝生育期(スズメノカタビラ出穂前～出穂初期)
	薬量	日本芝:0.035~0.2ml/m ² 、 西洋芝:0.05~0.2ml/m ²	1~1.5ml/m ²	0.1~0.15ml/m ²	0.6~1.2ml/m ² ・エテホン加用:0.3~0.6ml/m ²
	水量	0.05~0.2L/m ² *0.8ml/m ²	0.1~0.2L/m ²	0.1~0.2L/m ²	0.1~0.2L/m ²
	使用方法	全面茎葉散布 *無人ヘリ	雑草茎葉散布	散布	雑草茎葉散布 *エテホン21.5%液剤1.0ml/m ² 加用のうえ雑草茎葉散布
急性経口毒性LD ₅₀	普:ラット♂♀5,000mg/kg以上	普:ラット♀>2,000mg/kg	普:マウス♂♀>5,000mg/kg ラット♂♀>5,000mg/kg	普:マウス♂♀1,300mg/kg	
魚毒性 TLM	コイ・29.9ppm	コイ435mg/L(96h)	コイ・47.3mg/L(96h)	コイ・38.5mg/L(96h)	
水溶解度	1,100ppm	水に良く溶解	9.50g/L、pH6.7、20.8℃		
半減期	土壌中で3日以内		2~5日		
雑草スペクトラム		スズメノカタビラを出穂抑制	一年生雑草全般・チガヤ、ススキ	スズメノカタビラ出穂抑制効果	
樹木等への影響	通常の使用で問題なし	土壌処理、茎葉処理とも認められず			
洋芝への影響	日本芝と同様に抑制効果あり	安全性高い	寒地型西洋芝に強い葉害あり		
作用機作	ジベレリン生合成阻害による芝地上部の伸長抑制	エチレン様作用	アセトラクテート合成阻害		
効果	発現	5日~10日	1~2週間		
	残効	30日~60日	約30日	土壌残効は短い	
流通	シンジェンタ ジャパン	理研グリーン(バイエルクロップ)	石原バイオサイエンス	理研グリーン	
包装	250ml×4	1L×6	250ml×10	1L×3	
A価¥/kg.L	51,000	16,000	20,000	30,000	
¥/m ²	1.8~10.2	16~24	2~3	9~36	
備考	ベントグラスに対する芽数及び根量増加に適用あり	他の植物調整剤との混用でさらに効果安定	樹木等登録有り		